

無題

あの日

たくさんの悲しみを背負ったあなたに

10年経ってもまだ

かける言葉が見つからない

あなたのいのちに

不用意に触れてしまわないかと

怖いのです

あなたが

かつて教えてくれた詩人たちに

私は再び

出会っています

彼らのことばが

今もあなたを

照らしていることを信じて

震える声で

読んでいます